

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 4年 4月 1日

事業所名 いんくるーじょん東淀川事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2	職員の配置数は適切である	3		コロナにより子どもたちの安全に不安がある場合は法人本部と連携を図り、ヘルプの要請を行った。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2		身体障がいのある利用者が、現在は座椅子に着座しているが、そのまま床に寝転んでしまうことも多いので専用の椅子や机が置ける場所を確保していく必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	朝礼にて振り返りを行っている。	PDCAは日々の話し合いとサイクルを進めるためのシートなどを使用していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		送迎時に保護者と密に連携を行っている。	回収された自己評価表を使用し、よりよい支援を行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1	評価結果を共有し、改善につなげるように検討している。	現在は行っていないが、第三者による外部評価も検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	内部研修や外部研修に参加している。	少しずつ行っているが、今後さらに増える予定。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		アセスメントを行い、作成している。	今後、よりよい支援を行うために、日々の様子や課題を共有していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2	標準化されたツールを使用している。	全員で内容の共有を行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	計画を立て、全員で共有している。	共有した際に不在であった職員にも、個別で伝えていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		日々、様々なプログラムに取り組んでいる。	今後、さらに様々なプログラムを考えていく予定。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		課題を明らかにして取り組んでいる。	今後は、一人一人に対しての課題設定を行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	情報を収集し、共有している。	今後は個別活動と集団活動をあきらかにして組み合わせしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼にて振り返りを行っている。	支援開始前の朝礼で、よりよい支援を行えるよう話し合いを行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		朝礼にて振り返りを行っている。	必要なことはその日のうちに共有するようにしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		定期的に検証を行っている。	記録をとり、それを全職員が確認することで、支援の検証につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的に行っている。	特に重要なことがあった場合は、その時々で見直しを行うようにしていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2		様々な視点から支援を行っている。	ガイドライン総則の基本活動を全職員が改めて見直し、支援を行っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2	開催されれば管理者や職員が参加している。	なかなかサービス担当者会議が行われないことも多いが、必要があればこちらからも提案していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校への送迎時、連絡調整を行っている。	今後はさらに学校との連絡調整を強化していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	現在は対象児がいない。	現在は対象児がいないが、受け入れる場合はしっかり主治医や保護者と情報共有を行っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3			就学前に利用していた施設とも情報共有をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	以前に卒業生の移行先と連携していた。	今後も移行先と連携をしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	今後はさらに専門機関と連携し、助言や研修を受けていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	現在は機会がない。	現在は行っていないが、今後はそのような機会を設けていく予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	以前に催しに参加あり。	コロナ禍の中、集まって開催されることが少ないが、コロナの終息後は積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時に保護者と密に連携を行っている。	今後はさらに保護者と連絡を取っていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4	現在は行っていない。	現在は行っていないが、今後は実施していく予定。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		理解、納得してもらえるよう心掛けている。	全職員が内容を改めて確認し、丁寧に説明できるようにしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		相手の立場に立って話すように工夫している。	積極的に保護者からの相談に応じていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	現在は行っていない。	現在は行っていないが、今後は保護者会等の開催を予定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		すぐに報告、相談、共有を行っている。	苦情については、さらに迅速かつ適切に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		通信によって発信している。	SNSなども活用し、さらに情報を発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	5		十分注意をしている。	今後はさらに保管場所等に配慮をしていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		見やすくわかりやすい表現。ホワイトボードの工夫。電話苦手な方へのショートメールでの対応。	今後もより良い支援につなげるように工夫を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	現在は行っていない。	イベントなどを通して地域の方などを招待し、開かれた事業運営を目指していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	マニュアルを作成している。	マニュアルを作成したうえで、職員全体で共有を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		半年に1度のペースで行っている。	行っているが、今後は様々な災害に備えた訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		定期的に参加している。	今後はさらに積極的に研修機会の確保を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	そのような際に、子ども、保護者に説明している。	より分かりやすい説明を心がけていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2		アレルギー等の禁忌事項は共有している。	さらに保護者と密に情報共有を行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	共有し、再発防止に努めている。	事例集を作成し、定期的に見直しを行っていく。